

 <p>口之津小学校 学校だより</p> <h1>希望の丘から</h1> <p>希望の丘で本物の口之津っ子を育てます。</p>	<p>令和7年7月18日 7年度 第5号 校長 本村 英治</p>
	<p>学校だより「希望の丘から」タイトルは、校歌の歌詞「希望の丘の学舎は」から採用しました。口之津っ子の成長をお伝えしていきます。</p>

## 1学期が終了しました 成果と課題

## 第1学期終業式

7月18日（金）、第1学期の終業式を行いました。4月に進級し、一つ上の学年という自覚が生まれ、子どもたちにも数多くの成長がありました。



5月の運動会では、全力を出し切ることや協力で大きな力を発揮することを学びました。6月は、「ふるさと学」で子どもたちが校外に出かけ、主体的・体験的にふるさとを学び始めました。児童会の発案で始まった「あいさつ運動」が定着し、日常のあいさつがよくなりました。また、学力面でも5・6年生が受けた全国・県の学力調査では、全国平均・県平均と比較して良好な水準を維持しています。このように多くの成果があった1学期でした。

しかし、課題も見つかりました。7年度は「強い心と体」を特にがんばることとして指導を進めてきましたが、子どもたちは、まだまだ簡単にあきらめたり、少しのことで意欲を失くす面があります。また、授業中の「考え、表現すること」もがんばっていましたが、考えることは重要であり、指導を進めていきます。このほか学習規律、メディアの使い方も課題です。

成果と課題が明らかになりましたが、よくがんばっていた口之津っ子の1学期でした。何よりも大きな事故やけががなかったことが、最も大きな成果です。

保護者・地域の皆様には、本校の1学期の教育活動推進を支えていただき、感謝しております。子どもたちが、家庭と地域に帰ります。見守りとご指導をよろしく願います。

## 高校生から防災を学ぶ

## 口加高校と共同学習

毎年、口加高校生が学んだことを小学生に伝える出張授業をしてくれています。今年も「防災」をテーマに、授業をしてくれました。高校生は、小学生に分かるように工夫し、準備をして臨んでいました。



授業の導入では、楽しくゲームやクイズ形式を取り入れながら、災害の知識とそれにどう備えるかを教えてくれました。小学生も一生懸命に聴いて、教える方も教わる方も、とてもがんばっていた様子が好印象でした。

授業が終わる頃には、緊張も取れて高校生と親しくしている子もいました。高校生にとっては、学んだことの再構成や小学校という教育の現場を知るキャリア教育の一面もあります。この意義ある連携活動は、今後も継続していきたいと思えます。

1年生	雨の降り方と水の深さ
2年生	川から逃げろ！
3年生	風に乗っていき太陽
4年生	過去の大雨被害
5年生	地震と津波の恐ろしさ
6年生	火山についてどのくらい知っている？





## がんばれ代表選手 交通安全子ども自転車大会

本校は、毎年行われる「交通安全こども自転車大会」県大会に南島原市代表として出場しています。今年も10名の子どもたちが選手を希望し、数週間前から練習を始めています。指導は、南島原市交通安全協会の指導員さんやサイクルショップあらきの荒木常利さんに指導をいただいています。

10名の選手は、自身の意志で挑戦しようと思われ、参加しました。その前向きな姿勢は、本当にうれしく、そして頼もしく感じています。さすが口之津っ子です。毎日、暑い体育館で安全技能や乗車技能を練習し、かなり上達してきました。

県大会は8月1日（金）、会場は県立体育館です。選手たちが納得のいく結果につながってほしいと願うばかりです。南島原市代表として堂々と挑戦してほしいと思います。がんばれ！代表選手。

### 夏季休業中の主な予定

7月21日	夏季休業日（～8月31日） マリンフェスタくちのつ	10日	学校閉庁期間（～15日）
23日	保護者面談（～31日）	17日	家庭の日
8月1日	交通安全こども自転車大会 （9:00～県立総合体育館）	19日	食育の日
9日	全校登校日・平和集会 6年修学旅行説明会 （15:30～）	21日	全校登校日
		24日	親子環境整備作業 （7:30～運動場）
		9月1日	第2学期始業式（給食あり）

### まずは安全に そして家族の絆が深まる夏休みに

1学期が終わり、長い夏休みに入ります。子どもたちが家庭で地域で過ごす期間となります。全国各地で子どもたちの水の事故や交通事故の報道を目にするたびに、口之津っ子には安全に過ごしてほしいと願うばかりです。学校でも指導しますが、家庭や地域でも危険な場所での遊びや事故の恐れのある行動については、遠慮なくご指導くださるようお願いいたします。

そして、夏休みは、家族の絆を深める機会としていただきたいと思います。私にも2人子どもがいます（もう大人ですが）。彼らが小・中学生の時期は、私が教頭職であったり、単身で島に赴任したりして、子どもといっしょに過ごす時間が少なく、思い出があまりなかったことを今になって少し悔やんでいます。今は2人とも就職し、長男は北海道に住んでいますので、ほとんど会っていません。

考えてみると、親が子どもといっしょに過ごす時間は、思ったほど長くありません。子育ての時期は大変ですが、ぜひ、いっしょにいられる間に、特別なことはなくても同じ時間を過ごし、家族の絆を深めていただきたいと思います。夏休みは、その好機です。

まずは安全に。そして家族の絆が深まる楽しい夏が、すべての口之津っ子にすることを願っています。

